

# 栃木工だより 第16号

## 第44回栃木県公衆衛生大会及び第42回栃木県公衆衛生学会開催

平成16年9月9日（木）、栃木県総合文化センターにて行われました。

### ■第44回栃木県公衆衛生大会

今回は、当工業会の古川 浩監事（東芝メディカルシステムズ株）が保健衛生事業功労者大会長表彰（薬事衛生部門）、持田製薬株様が薬事衛生優良施設の部で大会長表彰を受賞されました。

また、昨年行われました第41回栃木県公衆衛生学会において、「コンピュータ・バリデーションとは」を発表されました、グラクソ・スミスクライン株の塩崎 意爾様が、平成16年度栃木県公衆衛生学会長表彰を受賞されました。



東芝メディカルシステムズ株  
古川 浩 様



持田製薬株  
畠 誠七 様



グラクソ・スミスクライン株  
塩崎 意爾 様

### ■第42回栃木県公衆衛生学会

午後から行われた学会では、杏林製薬株様、持田製薬株様、フォルテ グロウ メディカル株様の計3社が、栃木県保健福祉部業務課課長の宇賀神 貞夫座長のもとで、それぞれの演題を発表されました。



「製薬メーカーにおけるOHSASの取り組み」  
杏林製薬株  
鶴殿 勝則 様



「新注射剤棟建設コンセプト（品質管理）」  
持田製薬株  
中野 秀美 様



「ISO13485認証取得について」  
フォルテ グロウ メディカル株  
松崎 親一郎 様



学会風景

第一線で活躍される方々の発表をお聞かせいただき、大変有意義なひとときでした。  
発表者の皆様、ありがとうございました。

# 県外優良施設現地視察研修会

## (株)パウレック 東京支店

全薬工業(株) 副工場長 遠藤 邦和

去る10月28日、29日にかけて、栃木県薬事工業会恒例の県外優良施設現地視察（参加者26名）が実施されました。

初日には、埼玉県吉川市の株式会社パウレック東京支店を10：00～12：00に視察研修させて頂きました。

株式会社パウレックは、昭和23年6月創業し、ゆたかな粉体技術と、それを支える優れた人材の集合により粉体処理の王様を目指したいと言う夢とロマンを社名に託し、平成元年10月、社名を富士産業より変更した会社です。

最初に株式会社パウレック 代表取締役 高嶋 武志氏より会社概要を含めてご挨拶を頂きました。

粉体処理に関わる技術は、革新的に変化をとげようとしており、新素材に欠かせない超ファイン化、傾斜形機能性粉体などに代表される複合粒子化、無人化・クリーン化を追求しているとのことです。

また、粉碎から造粒、コーティングまでパウダープロセッシングのハード面全般に渡って製造する技術を持っているとのことで、この技術をベースに専門メーカーとも積極的に共同開発を行い、ノウハウをひとつひとつ経験し、ソフトを構築、ハード・ソフトに支えられて粉体処理プラントの構築を目指し、新しいユーザーニーズに応える事が可能であるようです。

技術研修講演が、下記演題で実施されました。

講演1 「造粒コーティング装置の構造と重要パラメーターと品質の関わりについて」

講演2 「錠剤コーティング装置と操作パラメーターについて」

参加者を3グループに分けて、下記4装置を順番にご案内頂きました。

- 1、錠剤コーティング機
- 2、攪拌混合造粒機と整粒機
- 3、微粒子コーティング機
- 4、転動・流動層造粒乾燥機

粉粒体処理のハード・ソフト・プラントエンジニアリングを通じて、技術の革新を一步一歩地歩を固めている企業である印象を受けました。

最後に、今回の企画にご尽力頂きました皆様方に深く感謝いたします。



## エスエス製薬(株) 成田工場

日本理化学薬品(株) 足利工場長 戸室 圭三

恒例の県外優良施設研修が、10月28日、29日の2日間で行われました。新潟県で発生した地震災害への対応もあり、県職員の出席は見送られましたが、各企業からの参加者は、総勢26名でした。1日目は、埼玉県吉川市にある造粒機メーカー「パウレック株」、2日目は、千葉県成田市にある製薬会社「エスエス製薬株」にて研修を実施しました。

「エスエス製薬株」は、風邪薬、胃腸薬、目薬、ビタミン剤等の大衆薬を中心に、錠剤、顆粒、ドリンク剤、貼付剤等を幅広く生産する製薬メーカーです。栄養ドリンク「エスカップ」、風邪薬「エスカッピング」、しみ・そばかす用薬「ハイチオールC」、胃腸薬「ガストール」などは薬局でよく見かけます。

工場はJR成田駅の近くにあり、便利な一面、周囲は一般住宅も多く、環境整備等に多くの配慮がなされていると感じました。

到着後すぐに、本間工場長より、工場の概略説明を受けました。約2万坪強の敷地に、製剤工場と研究所が併設されています。社員数はパートも含めて250名が勤務しており、夜間は無人運転で製剤化を行っています。年間生産量は、錠剤16億錠、顆粒38万包、貼付剤63万枚で、OTCが8割を占めています。年間生産高は374億円で、錠剤（エスファイトゴールド、ハイチオールC、エスタッキブ）、顆粒（エスタッキブ、エスタック）など生産しているとの事でした。

ついで、数棟ある製剤棟の中から、平成12年に建設された固形製剤棟の見学に移りました。

建物は5階建てで、5階に機械室を設置し、他の4階を製剤化に使用していました。1階で受入・秤量した原料を4階に上げて造粒・混合し、3階で打錠、選別後2階にてコーティングし、製剤化された錠剤を包装棟に送る構造でした。縦方向に物を移動させる構造で、移動による時間的なロスを少なくした構造でした。入棟してすぐにクリーンスーツに着替えた後、通路からの見学でしたが、移動用の通路からクラス10万で管理されており、通路に浮遊微粒子を自動的に測定する機器を設置し、コンピュータに記録しているそうです。

製薬メーカーとしては当然かもしれません、異物に対する対応は徹底しているようです。

最後になりますが、20名強の人数での訪問、道に迷って遅れたにもかかわらず、快く対応していただいた本間工場長、中村医薬品製造管理者及び案内していただいた5名の皆様に心からお礼を申し上げます。



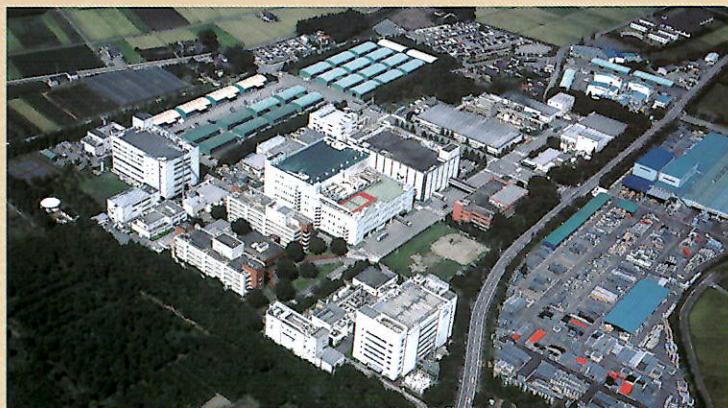
最後になりましたが、お忙しい中、今回の視察を快くお引き受けくださいました、株式会社パウレック様、エスエス製薬株式会社様に、深く感謝いたします。

# ちょつといい話

会員の皆様からの投稿のコーナーです。  
第16回目は、花王(株)さんです。

花王栃木工場は、花王の6番目の工場として、1975年に栃木県市貝町に建設されました。花王の8つの工場の中では、唯一、内陸部に位置する工場です。緑豊かな周囲との調和をはかって、敷地には約1万本の樹木が植えられています。ゆったりとした静かな環境の中には、基礎化学から製品の開発研究まで、幅広い分野の研究をすすめている栃木研究所を併設しております。

現在、栃木工場では紙オムツ『メリーズ』『リリーフ』、生理用品『ロリエ』、住居用紙製品『クイックルワイパー』などを生産しています。また、製品に入れるための新しい香りの調合もおこなっております。お客様の声にできるだけスピーディーにお答えするために、工場スタッフと研究スタッフが一緒になって製品づくりに取り組んでいるのが特長です。生産ラインは自動化され、品質の高い製品を効率良く安全につくっています。



## うちの看板むすめ

写真左から、

徳増 淳子（広域事務G）

入社してまだ半年なので毎日学ぶことがいっぱいです。  
経理なのに大雑把な性格なので、早く細かい数字をきちんと扱えるようにならないと！と思っています。

高松 綾香（社会関連G）

入社して3年目になりますが、明るく笑顔を大切に丁寧な仕事を心掛けています。  
これからも社員の皆さんのが、良い気持ちで仕事が出来るよう、努めていきたいと思っています。



次号は、東芝メディカルシステムズ(株)さんです。どうぞお楽しみに！

編集後記

急に寒い冬がやってきましたが、皆様お元気でしょうか。  
私は風邪をひいてしまいました。年々、風邪をひく回数が増え免疫力の低下が心配です。まずは、栄養と睡眠を…それから、ちょっと運動もと思っています。

発行日 平成16年11月24日  
発行所 栃木県薬事工業会  
宇都宮市戸祭元町1-25  
栃木県保健福祉会館内  
TEL (028) 650-6163  
E-mail:yakumu01@beige.ocn.ne.jp